

ジオメトリストの会（GMの会）
2024年度 地理空間情報勉強会 in 松本

日 時 2024年10月25日（金）13時00分～16時30分
場 所 JA松本ハイランド 松本市会館 5階会議室（松本市深志2丁目1-1）

当会の地方における活動の一環として、昨年の広島勉強会に続き今年は長野県松本市内の松本市会館において『2024年度 地理空間情報勉強会 in 松本』を開催しました。

今回は長野県測量設計業協会の全面的な協力の下、官公庁や地元長野県の測量会社をはじめ周辺各地の会社からほぼ定員の70名を上回るお申し込みをいただきました。

勉強会は3部構成として、第1部は『過去の災害から学ぶ防災・減災』をテーマに、国土交通省国土地理院応用地理部から大塚部長をお招きして「自然災害伝承碑をはじめとした防災・減災に役立つ地理空間情報」と題した特別講演、そして第2部も特別講演として『災害を遺す伝える』をテーマに信州大学教育学部 防災教育研究センターから廣内教授をお招きして、「活断層地震災害をどう記録し遺すのか」と題したご講演をいただきました。

また、第3部では『三次元計測コンサルタントへの道』をテーマに、日本測量協会 測量技術センター 測地基準情報部 岩田部長による「我が国の標高体系と今後の動向」と題した技術講演に続き、長野県の第一線で活躍している技術者にもご参加いただき「実測（水準測量等）の現状や今後の動向」に関するパネルディスカッションを行いました。

以下に勉強会の様子をご紹介します。

開会挨拶（主催者代表挨拶）

ジオメトリストの会 会長 小川 忠利（国際航業株式会社）



共催者代表挨拶

公益社団法人日本測量協会 専務理事 住田 英二



後援者代表挨拶

一般社団法人長野県測量設計業協会 会長 吉竹 行仁 様 (株式会社アズミエンジニア)



【第1部：過去の災害から学ぶ防災・減災】

特別講演

『自然災害伝承碑をはじめとした防災・減災に役立つ地理空間情報』

国土交通省国土地理院応用地理部 部長 大塚 孝治 様



参加者とのディスカッション

【第2部：災害を遺す伝える】

特別講演

『活断層地震災害をどう記録し遺すのか』

信州大学教育学部防災教育研究センター 教授 廣内 大助 様



【第3部：三次元計測コンサルタントへの道】

技術講演

『我が国の標高体系と今後の動向』

日本測量協会測量技術センター測地基準情報部 部長 岩田 昭雄 様



パネルディスカッション

『実測（水準測量等）の現状や今後の動向』

モデレータ：ジオメトリストの会 代表委員 森池 寛通（アジア航測株式会社）



パネリスト：左から

日本測量協会 岩田 昭雄 様

朝日航洋株式会社 鈴木 寛 様



パネリスト：左から

株式会社嶺水 小山 忠孝 様（長野県測量設計業協会 副会長）

有限会社かいたく 草間 謙一郎 様



パネリスト：左から

株式会社パスコ 宮坂 正樹 様

朝日航洋株式会社 今井 友桂子 様



閉会挨拶

ジオメトリストの会 副会長 日當 卓也 (ESRI ジャパン株式会社)



総合司会

ジオメトリストの会 代表委員 加納 政宏 (国際航業株式会社)



講演終了後は意見交換会を開催し、講演者の皆様と更に議論を深めるなど対面ならではの
大変有意義な勉強会となりました。

*当日のプログラム